

ただ今 熱中ちゅう ④

本の読み聞かせ

子供たちは、お母さんやお父さんのひざの上で、本を読んでもらうのが大好き。しかし小学生になると、それもいつしか途絶えて…。「小学生にも本を読んでもらうことが必要。本のおばさんと呼ばれた」と、須津公民館で本の読み聞かせに熱中している、神谷の後藤和子さん（三十九歳）からお話しを伺いました。

「絵本の読み聞かせを聞いている子供たちの目が、生き生きと輝いて、もっと読んでほしいとせがむ。そんな反応に触れると楽しくなって、もっともっと工夫したいなあって思いますね。」

読み聞かせは、本を淡々と読むんです。それで想像力をかきたてる。いい絵を見たり、音楽を聞くのと同じですね。そ



後藤和子さん

れだけに、本を選ぶのに気を使います。今、仲間八人。毎月一回、公民館で『おとぎのへや』を開いています。図書館や公民館で借りた本、自分の本などを持ち寄り、一度読んで決めていきます。子供たちの反応を楽しみにしながら。

『おとぎのへや』は出来たばかり。熱中してくれる仲間をもっとふやしたいですね。」

31 伸び伸び 楽しく!

「日食バドミントン部」

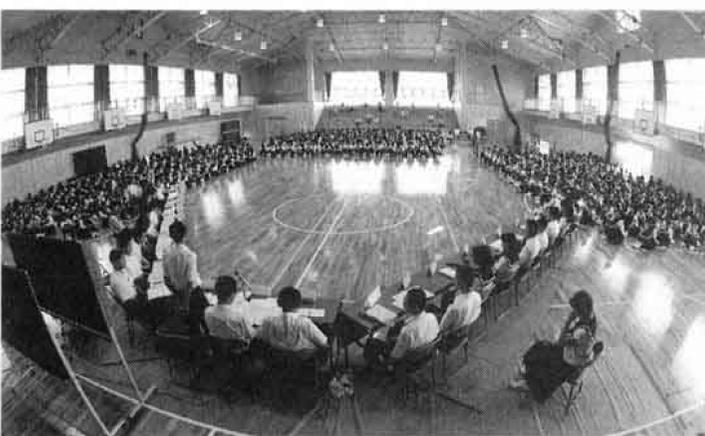


△勤労者体育センターで猛練習

平成とともに同好会が誕生し、昨年4月に「部」に昇格したばかりのまだわか～いわか～い私たち。数人の経験者の甘いささやきと、「バドミントン」という未知なる響きに魅せられて、今では幅広い年齢の30余名が、週1回の練習に励んでいます。

「暗いなんてイメージを持っている人？体育館をちょっとのぞいてみては…。パワーあふれる動きに思わずうっとり…なんてことはありませんが、汗ダクダクでサウナにでも入っているかのように熱気はムンムン。バドミントン大好き人間はもちろん、ちょっとおなかが気になりだした人、最近運動不足という人たちが限られた時間をフル活用し、伸び伸びとファイトで頑張っています。

問い合わせ 日本食品化工(株)富士工場
村松 ☎52-3781



△体育館に全員集まって

男子髪形の見直し

鷹岡中学校では、男子髪形の見直しについて、生徒会活動を通して話し合ってきました。

髪形の見直しは、他のきまりと違い自分の体の一部のことなのだから、生徒自身が意識をしっかりと持たなければいけません。そこで、どんな意識を持つべきか、また持たせるかを考えるために、一年から三年の代表者と生徒会本部がパネラーになり、パネルディスカッションを開きました。ディスカッションでは、「髪形は自己の性格や人格をあら

力を合

わせて

鷹岡中生徒会活動



△議題はこれ

わす、「中学生にふさわしい髪形」ということから、丸刈り、スポーツ刈り、長髪のいずれかを自分で選択することに、大多数の賛成を得ることができました。そして、「その髪形のあらわれに、みずから責任を持つ」という、共通の価値感へ広げることでもきました。

こちら編集室

高校総体バドミントン、窓や扉を閉め切り冷房も入れないので、会場は選手や観客の汗と熱気でムンムン。スタッフも汗だくの取材となりました。ところで、一つだけ残念なことが。それは年間約百五十日見えるという富士山が、開会中一度も見えなかったことです。